

平成 28年度 高松市事務事業評価表 (事中・事後評価)

事務事業名	就業支援推進事業		
部 局 名	創造都市推進局	課(室)名	産業振興課
		電話番号	087-839-2411

【事業全体概要】まちづくりの目標：人がにぎわい活力あふれるまち

総合計画	政策	安定した魅力ある就業環境づくり		主体	市	
	施策	就業環境の向上		期間	平成 20年度～平成 27年度	
	基本事業	就業支援の推進		総事業費	100,649	
重点取組項目				特定財源	国	175
関連根拠法令等					県	14,561
事業区分	自治事務	種別	事中・事後	市債		
事業種類	単独			他		
				一般	85,913	

事業の概要
 就労促進事業として、就活応援・適職相談事業、労働関係情報発信事業（たかまつ労政だよりの発行、ワーキングたかまつ掲載）を実施する。子育て支援中小企業等表彰事業として、一般事業主行動計画を策定し、従業員の仕事と子育ての両立支援に積極的に取り組んでいる市内の従業者100人以下の事業所を表彰する。
 その他事業として、雇用促進対策、勤労者福祉に関する事業を行っている団体に補助を行う。

【事業の目的と指標】

対象	労働者や求職者、新規学卒予定者など	対象指標名	職業安定業務統計速報，雇用情報
手段	許可・登録業者人権研修講座、子育て支援中小企業等表彰事業等を実施するとともに、雇用促進対策・勤労者福祉に関する事業を行っている団体への補助を行う。 また、関係行政機関等の協力により、就活応援・適職相談事業等の開催や、労働関係情報発信事業等を実施する。	活動指標名	「就活応援・適職相談事業」実来場者数
意図	ハローワーク高松、しごとプラザ高松、香川労働局、香川県、関係行政機関等との連携強化を図り、労働者や求職者、新規学卒予定者などへ就労支援を行う。	成果指標名	「就活応援・適職相談事業」相談件数
結果	ハローワーク高松、しごとプラザ高松、香川労働局、香川県、関係行政機関等から最新の情報提供を受けるとともに、専門的な見地から意見をいただき、協議を行う。	効率指標名	トータルコスト当たりの「就活応援・適職相談事業」実施回数

【指標値および事業費の推移】

指標名	単位	平成 25年度	平成 26年度	平成 27年度	目標値	目標年度
対象指標	人，%	1	1	1	1	
活動指標	人	379	384	632	200	平成 27年度
成果指標	件	48	41	51	200	平成 27年度
効率指標	回	1	1	1	1	平成 27年度
トータルコスト	[千円]	10,119	10,257	10,530		
(事業費)	[千円]	3,603	3,614	3,621		
(職員人件費)	[千円]	6,516	6,643	6,909		

【環境変化等】

開始時周辺環境（背景）	現状周辺環境	今後周辺環境（予測）	住民意向分析
本市の雇用促進及び地域雇用の核となる産業の創業支援をするため、高松市地域創業支援協議会を設置し、地域創業助成金の関係業務、その他必要な事業を行うこととなった。	国の地域創業助成金の廃止に伴い、同協議会が廃止となったが、本市の労働力の確保及び雇用の促進対策、各種労働問題について、関係行政機関等と連携して対応している。	有効求人倍率は、持ち直してきており、新規学卒者の就職決定状況に改善傾向が見られるものの、依然として、雇用情勢は厳しいものと予測される。	厳しい雇用情勢の中、雇用や各種労働問題に対する住民ニーズは高いと考える。

【妥当性評価】

1. 事業の実施主体として市の関与は妥当か B 現段階では市による実施が妥当である 現下の厳しい雇用情勢において、国や県では相談対象としていない再就職を希望する高齢者や、悩みを抱えながら働いている人を支援するための相談事業等を実施する必要がある。
2. 事業の上位目標である施策に貢献しているか B 貢献度が中程度 / 義務的事業 就業環境の向上に一定の貢献をしている。
3. 成果を上げるため、またコストを削減するため、対象あるいは意図（目指す状態）を拡充・縮小する必要があるか A 必要性はない 労働者、求職者及び新規卒予定者等を対象としている事業であり、拡充・縮小する必要はない。
4. 事業を廃止・休止した場合に影響があるか A 影響は大きい 関係行政機関等との連携強化や労働関係の情報提供を目的としており、事業を廃止・休止すると、重要な情報を迅速に入手することが困難となり、雇用・経済情勢の変動に対応できないことから、影響は大きい。
5. 市民協働の実施状況はどうか（どのような市民参画・市民活動との連携等を実施したか） C 事業の実施や見直しについて、市民委員会等の意見を反映している 子育て支援中小企業等表彰事業は、選考委員に市民が参画して連携していることから、意見を反映している。

【有効性評価】

6. 事業の成果（成果指標値）を向上させる余地はあるか A 向上余地はない 雇用環境が改善しており、あまり向上の余地はない。
7. 事業執行上の見直しを行ったか（昨年度何か業務の見直しを行ったか） A 実施済み / 実施する必要がなかった 「就活応援・適職相談事業」において、中小企業者における人材の確保及び育成を支援するため、企業のPRコーナーを充実し、来場者の増加を図った。
8. 成果目標値に対する実績値（達成度）はどうだったか D あまり達成できなかった 「就活応援・適職相談事業」の実績としては、各コーナーへの相談件数は昨年度より増加しているが、目標値の達成はできていない。

【効率性評価】

9. 成果を達成するための活動量（活動目標値に対する実績値）はどうだったか A 目標以上に達成できた 「就活応援・適職相談事業」において、地元企業のPRコーナーを充実したことにより、全体の来場者が増えた。
10. コスト縮減ができたか D 縮減できなかった 補助額の見直しは難しく、コストの縮減はできなかった。

【一次評価】

評価区分	改善継続																						
来場者・相談件数とも昨年度より増加しているが、相談件数が目標値に達していないため、引き続き会場のレイアウトを工夫するなどして、相談件数の増加に努める必要がある。																							
	改革案	期待効果																					
内容	相談件数を増やすため、会場のレイアウトを工夫するとともに、来場者に積極的に声掛け等を行う。	関係行政機関等の協力が必要 。阻害要因																					
			<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト				削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下
		コスト																					
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持																						
	低下																						

【二次評価】

評価区分	改善継続
国や県、関係団体等と連携し、職業相談や求人情報の提供など、事業内容の見直しを行いながら、引き続き、雇用の確保に努める必要がある。	